

令和4年度 第4回地域医療支援病院に関する委員会

開催日時	令和5年1月31日(火) 13時30分から14時10分まで		
開催場所	大垣市民病院2病棟1階 会議室		
議 題	定例報告及び紹介率向上への取組みについて		
出席委員 (敬称略)	委員長	大垣市医師会長	沼口 諭
	副委員長	大垣歯科医師会会長	片野 雅文
	委員	大垣市医師会副会長	竹中 清之
	委員	大垣市医師会理事	森 俊治
	委員	安八郡医師会副会長	町田 崇史
	委員	大垣歯科医師会副会長	馬淵 直樹
	委員	大垣薬剤師会長	松本 正平
	委員	大垣市教育長	細江 敦
	委員	大垣市女性連合会長	竹中 昌子
	委員	岐阜協立大学看護学部准教授	馬場 貞子
	委員	弁護士	鈴木 一郎
公開区分	公開		
傍 聴 人	なし		
概 要	1. 報告事項 (1)定例報告事項 1)よろず相談・地域連携課から、①紹介率・逆紹介率、②地域連携を介した診察・検査件数、③開放型病床利用状況、④救急統計、⑤地域の医療従事者に対する研修・講演会の開催状況、⑥地域連携クリニカルパス登録状況、⑦OMNet 利用状況、⑧地域の医療機関との連携相談実績について報告した。 ①紹介率……4年4月～4年12月:61.3% 逆紹介率…4年4月～4年12月:139.0% ②地域連携予約診察件数…4年4月～4年12月計:8,557件 地域連携予約検査件数…4年4月～4年12月計:700件 ③開放型病床登録医数…4年12月末:160人(医科131人、歯科29人) 利用率…4年4月～4年12月:12.0% ④救急受診患者数…4年4月～4年12月計:33,463人(月平均3,718人) 救急車利用件数…4年4月～4年12月計:8,508件(月平均945件) 救急入院患者数…4年4月～4年12月計:2,584件(月平均287件) ⑤地域医療従事者に対する研修…4年4月～4年12月開催数:20回、院外受講者94人 * 病診連携カンファレンス、西濃がん早期診断研修会、診療報酬に関する委員会、西濃地域緩和ケア研修会、外来化学療法における薬薬連携研修会、西濃画像研究会、西濃地区糖尿病メディカルWEBセミナー等		

市民対象講演会等…4年4月～4年12月開催数:5回、院外受講者73人

＊市民公開講座、がんの市民公開講座等

⑥地域連携クリニカルパス登録状況…4年4月～4年12月登録総数648件

4年12月末時点でのパス開始からの登録総数:11,856件

⑦OMNet利用状況…4年12月末時点の利用登録医療機関:119機関

診療情報閲覧に同意した患者総数:37,580人

⑧地域の医療機関との連携相談実績…4年4月～4年12月計:9,257件

医療相談実績…4年4月～4年12月計:1,246件

2) 上記の報告について次のとおり質疑応答等が行われた。

(委員)

今年度、救急車の利用が増えていることについて何か分析しているか。

(事務局)

圏域外の病院でコロナ患者の受け取りを拒む状況があり、救急車が増えたのは主にコロナ患者が原因と思われる。

(委員)

救急受診の患者さんは非常に増えていて発熱外来も含んでいるのか。

(事務局)

発熱外来も含んでいる。

(委員)

昨年と比べて紹介率の減っている要因として何が考えられるか。

(事務局)

紹介率の低い7月、8月は発熱外来が一番多い時で新患患者数が非常に増え、紹介患者数は減っていないが分母が大きくなった分、パーセントは低くなった。患者さんの数自体はその時期も減っていない。

(委員)

救急医療の対応をみてコロナ禍で大変ハードな仕事をして頂き感謝申し上げます。紹介率の承認要件は50%以上と示してあり、60数%と超えていても向上の取り組みをするということは、目標とする紹介率の数値はあるのか。

(事務局)

紹介率が増えることは急性期病院として本来の役割を担っていることの裏付けとなり、高ければ高い程いいと考えている。

(委員)

今年度は講演会、研修会も増えて参加者はまだ少ない感じを受けるが、周知して増えるといいと思う。

地域連携部門の医療相談件数が増えていることについて、相談できる体制があるから相談する方が増えていると思う。どんな相談内容が多いかの説明もあるといい。

	(委員) 開放型病床の利用が伸びていないと思う。何人以上入れないといけないとか地域医療支援病院として維持していくための決りはあるのか。 (事務局) 地域医療支援病院として開放型病床は必要であるが数値的な決りはない。 (委員) 地域医療従事者研修会で 11 月にがんの研修会に参加した。興味あるテーマであることもあるので早目に情報を得たいと思うが、会には来ているか。 (事務局) 現在、情報提供していないので、歯科医師会、薬剤師会にも情報提供する。 (委員) 市民病院の公開講座が広報紙に載っているので市民の方の勉強の機会としてこうした講座が有意義なものになるといいと思う。 (事務局) コロナ禍で数を減らしたりできなかった時期はあったが、様子を見ながら開催していきたい。 (2)紹介率向上への取り組みについて 1)よろず相談・地域連携課から、紹介率向上への取り組み状況について次のとおり報告した。 ①令和 4 年度 4 月から 12 月までの患者さんからの電話予約実績は 596 件。地域別では大垣市の先生が約 9 割を占めている。診療科別では歯科口腔外科が約 4 割を占めており小児科、皮膚科の順となっている。 ②かかりつけ医紹介センターの相談件数は、令和 4 年度 4 月から 12 月まで 43 件。診療科別としては、循環器内科が 34.8%、消化器内科が 18.5%、神経内科が 11.6%で、この 3 科で約 6 割を占めた。 2)委員から、上記の報告について意見・質問はなし。 2. その他 (委員) 1 月 26 日から電子処方箋ができるようになり大垣市民病院での導入予定があるのか教えて頂きたい。 (事務局) 電子処方箋をいつから始めるなどの具体的な計画にはまだ至っていない。全国の動き、他病院の動きなどを見て検討していく。 (委員) 在宅、訪問看護などで使う芭蕉ネット端末が市民病院で使えるようにしてあるが、内容をみたり緊急患者さんの受入時に役立ったなどの事例はあるか。
--	--

	また、使い勝手にこうした方がいいといった意見があれば頂きたい。 (事務局) 端末は救急、地域連携室に設置してある。どの程度使っているか使い勝手はどうか確認して報告したい。 (委員) この委員会の資料データをみてコロナ禍の中でも多くの診療をして、また実習を引き受けて頂き有り難い。学生の反応、成長は臨床に来て学ぶことにより全く違うことを実感している。
次回開催	令和5年度第1回委員会は、日程調整し決定する。